

第18回米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会の概要

- 開催日時 平成30年11月26日(月) 1330～1430
- 場 所 京丹後市役所峰山庁舎 2階会議室
- 出席者 【京都府】総務部副部長、丹後広域振興局企画総務部長(局長代理)
【京都府警察本部】警備部警備第一課課長補佐(警備第一課長代理)
【京丹後警察署】警備課長(京丹後警察署長代理)
【京丹後市】副市長
【地域住民代表】京丹後市区長連絡協議会会長兼島津連合区長
宇川連合区長会会長
京丹後市女性連絡協議会理事
丹後町袖志区長
丹後町尾和区長
【米軍経ヶ岬通信所】第14ミサイル防衛中隊副隊長(中隊長代理)
【航空自衛隊経ヶ岬分屯基地】第35警戒隊長
【近畿中部防衛局】企画部長、管理部長、京丹後現地連絡所長

○近畿中部防衛局からの説明

I 経ヶ岬通信所における状況等

- (1) 工事等の状況
- (2) 交通事故の状況等

II 住民の安全・安心

- (1) 交通安全に対する取組
- (2) 交通誘導及び巡回警備

III 日米交流及び地域振興策の状況

- (1) 日米交流等
- (2) まちづくりへの支援

IV その他

- (1) 経ヶ岬飛行制限区域における救急搬送の遅延事案
- (2) 近畿中部防衛局広報誌について

○米軍経ヶ岬通信所挨拶

- ・ 地域の代表者の皆様からの経ヶ岬通信所に対する多大なご支援に心から感謝申し上げます。
- ・ 経ヶ岬通信所は商用電力の導入を無事完了した。近畿中部防衛局と共に、工事が順調に進むよう、工事の進捗状況の情報を地元責任者の方にお伝えしていくよう取組んでいく。経ヶ岬通信所は常に地域の安全に重点を置いている。また、近畿中部防衛局、ドクターヘリそして地元の救急機関とともに、緊急事態の入域調整において、より良いコミュニケーションの構築に取り組んでいく。
- ・ 経ヶ岬通信所は島津小学校において4回目のハロウィンイベントを開催した。次のもう一つの大イベント、イースターを楽しみにしている。また、経ヶ岬分屯基地司令、福知山駐屯地司令との訓

練におけるパートナーシップでも飛躍的進歩を遂げている。消防訓練で支援をいただいている京丹後消防署及び交通安全講習会にご尽力いただいている京丹後警察署にも感謝申し上げます。

- ・ 経ヶ岬通信所の中隊長として基地で働く兵隊、請負会社及び日本人職員の安心・安全の確保にも責任を持っている。私の職員は地域に掲げられた“US Troops out now (米軍、今すぐに出ていけ)”という心ない表現の看板について懸念の声をあげている。様々な考えの方がいることは理解するが、さすがに安息の場所に掲示されると、司令官としてスタッフの士気に影響が出かねないと懸念している。基地内で働くスタッフや工事関係者、車両について撮影している方がいて、私の職員は基地内でのプライバシーについても懸念を持っている。
- ・ 経ヶ岬通信所は、全ての基地職員に対し、安全運転の強化に努めている。安全運転の重要性を呼びかけるため、私たちは経ヶ岬通信所チーム及び工事業者に対する安全運転の注意喚起を毎週継続して行っていく。
- ・ 皆様の地元地域にて奉仕していくこと、またこれらのパートナーシップそして永続する友好関係の構築を継続していくことを楽しみにしている。

○出席者の意見等の概要

(1) 台風時の支援への感謝

- ・ 袖志の集落では、今年10月1日に台風24号により大きな被害が出たが、その時に最初に支援の申し出をくれたのが米軍であり、住民も大変勇気づけられた。その感謝の気持ちをその場で十分に伝えられなかったため、この場を借りて区民を代表して御礼申し上げたい。また、先日行われた袖志の海岸清掃に、米軍・自衛隊が参加してくれたことについても感謝申し上げたい。

(地域住民代表)

(2) 商用電力の導入

【意見要旨】

- ・ 商用電力導入が実現し、騒音問題が解決できたという点については、地域住民も喜んでおり、尽力いただいた関係者に改めて感謝申し上げたい。

(京丹後市)

(3) 交通事故の状況等

【意見要旨】

- ・ 7月27日の事故に関しては、前回と同様、在日米陸軍に照会中とのことで、今回の資料にも交通事故の状況等に係る記載がないが、これは7月以降も事故がなかったという理解でよいのか。また、照会に対する回答はいつ頃得られるのか。

(地域住民代表)

- ・ 7月27日の交通事故に関して、本日に至るまで情報提供がなされないことについては、誠に遺憾であると言わざるを得ない。交通事故に係る情報の速やかな提供は、地域住民の安全・安心の確保、ひいては地域との信頼関係を醸成する観点からも非常に重要であると考えている。防衛局の責任において、早急に当該事故の詳細を把握して、関係者に情報提供されることを強く申し入れる。

(京都府)

【回答要旨】

- ・ 7月27日の事故については、先ほどもご説明したとおり、在日米陸軍に照会中なので資料には記載していない。今後、情報が得られた際には、関係自治体に提供させていただく。

(近畿中部防衛局)

(4) 交通安全対策

【意見要旨】

- ・ 宇川地区において車を運転する上で注意すべき危険な箇所を、小学校や駐在所とも協議の上、外から来られた方にもよくわかるよう写真入りのマップとして作成した。交通安全マップを更新して、米軍関係者に対する日常的な周知に努めていただきたい。(地域住民代表)
- ・ 雪道走行に際して注意すべき点を記載した書面を通信所にお届けしているのので、勤務する米軍関係者に周知いただき、交通事故のないように注意してほしい。(京丹後市)
- ・ 特に冬季の交通安全対策については、米側からも報告があったとおり、交通安全講習会の受講徹底を含めて、しっかりと対策をしてもらいたい。(京都府)

(5) 日米交流等

【意見要旨】

- ・ 国際交流協会で開催している日米交流事業も毎年好評をいただいている。ハロウィンイベントは、参加者も年々増えており、今年は150人が集まった。米軍関係者との英語でのコミュニケーションを楽しみに参加する子供も増えている。
また、9月29日には黒部で国際交流パーティーを開催した。演奏を披露した団体も、これまで外国人の方と交流する場がほとんどなかったということで、新しい交流のきっかけになったと大変好評であった。今後も協力をお願いしたい。(地域住民代表)

(6) 経ヶ岬飛行制限区域における救急搬送の遅延事案

【意見要旨】

- ・ 再発防止策の一つとして、飛行制限区域の影響を受けない場所へのヘリポート整備に向けて必要な予算の確保に努力するとあるが、これは宇川地域の住民の要望でもあるので、一日も早い実現に向けての支援をお願いしたい。(地域住民代表)
- ・ 飛行制限区域外へのヘリポート整備については、停波手続が必要ないという意味で抜本的な対策であると考えているので、近畿中部防衛局と京丹後市が連携して、できる限り早期に整備していただきたい。(京都府)

(7) その他

【意見要旨】

- ・ 7月から8月にかけて、米軍経ヶ岬通信所が攻撃されることを想定したシェルターや監視塔、防壁の施設整備が計画されているとの新聞報道があった。基地の警備強化も大変重要なこととは思

うが、周辺住民はこうした攻撃にさらされた場合、Jアラートによる自主避難のみという状況である。周辺住民の安全確保をどのように考えておられるかお聞きしたい。

また、穴文殊は国定公園に指定されており、自然と景観、住民の信仰の場の保全・保護のため、以前、トイレコンテナが設置された際には、地元から要請して撤去してもらった。防護壁やシェルターの設置は周辺の景観にも影響を与えると思うので、整備の計画があるのであれば、景観・環境・文化に十分配慮いただくとともに、事前の説明をお願いしたい。(地域住民代表)

- ・ 新たな施設整備の状況について断片的に情報が入っている。地域の方も心配している。安全確保のために必要な情報については、事前にしっかり把握いただき、説明責任を果たしていただきたい。(京丹後市)

【回答要旨】

- ・ お尋ねのシェルター等の配備については、防衛本省から在日米軍司令部に照会したところ、米側からは、いずれも施設区域内において通常実施する部隊防護措置であり、それ以上のものではないとの回答があった。

従前から説明申し上げているとおり、TPY-2レーダーの存在により、経ヶ岬が攻撃される可能性が高まるものとは考えられず、通信所を取り巻く情勢にも特別な変化があったものとは考えていない。部隊が各種事態に効果的に対応し得るよう基地の警備に万全を期すことは、米軍・自衛隊問わず、当然のことと考えている。

いずれにしても、万が一の事態においては、防衛省・自衛隊として、その状況に応じ、警察及び消防等の関係機関と協力しつつ、迅速かつ適切に避難住民の誘導や人命救助に係る国民保護措置を実施することにより、住民の方々の安全を確保できるよう万全を期してまいりたい。

また、当局としては、景観・環境・文化への配慮に係る地元のご要望を米側に伝え、地域住民の方々の安全・安心の確保に向けて、米側から新しく得られた情報については、速やかに情報提供できるよう努めてまいりたい。

(近畿中部防衛局)

以上